

苗代っ子「算数&理科」

苗代小学校 No.5
平成24年8月6日(月)
発行 研究推進委員会

たねを集めて保存しよう 😊 ~来年も花を楽しむために~

1年アサガオ

①ちやいろくなったら さやごととる

- ・ あついと、たねをつくりにくい。はやくにさいたはなか、おそくにさいたはなが、おおきなたねをつくるよ。
- ・ はなのいろを、おぼえておこう。らいねんも、おなじいろのはながさくよ。
- ・ 1つきはんほどで、きみどりのたねがちやいろになるよ。はさみなどで、さやごととろう。



②さやからだし、よくかわかす。

- ・ しんぶんしなどのうえにおき、さやからとりだす。
- ・ ひろげて、ひかげで、かぜとおしのよい、かわいたところに、1しゅうかんいじょうおいておき、よくかわかす。よるはとりこもうね。

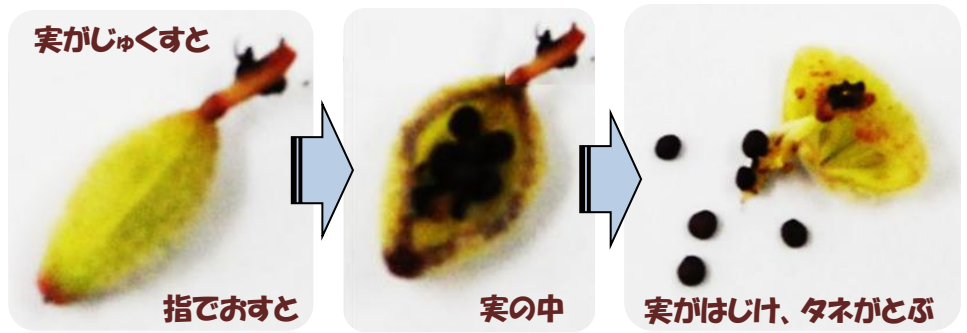


③ふくろにいれ、とっておく。

- ・ ゴミをとりのぞき、はなのいろごとに、かみぶくろにいれる。ビニルぶくろはむれるのでダメ。
- ・ たねのふくろは、びんにいれておく。びんは、かんそうざいをいれ、すずしいところにおいておく。



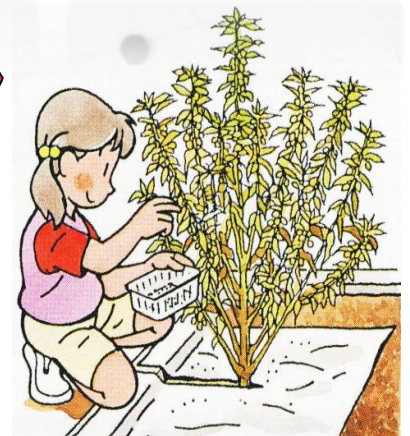
内容・図は光村図書出版(株)教科書「せいかつ」学習指導・実践編を引用しました。



3年ホウセンカ ~たねを遠くにとばすくふう~

- ・ ホウセンカは、花が咲いた後、ラグビーボールような実ができます。実はじゅくすとしぜんとはじけ、そのいきおいで中のタネを遠くへとばします。これを「蒴果・さくか」といいます。ヤマユリ、アヤメ、オクラ、スマレも、実がはじけてタネをとばします。
- ・ タネをとる時は、地面にビニールシートなどをしましましょう。実のふくらんだところを両方から指で軽くおすと、実がはじけてタネがとび出します。実がはじけないときは、じゅくしていないので数日後に。

内容・図は東京書籍(株)教科書「理科3年」指導編を引用しました。

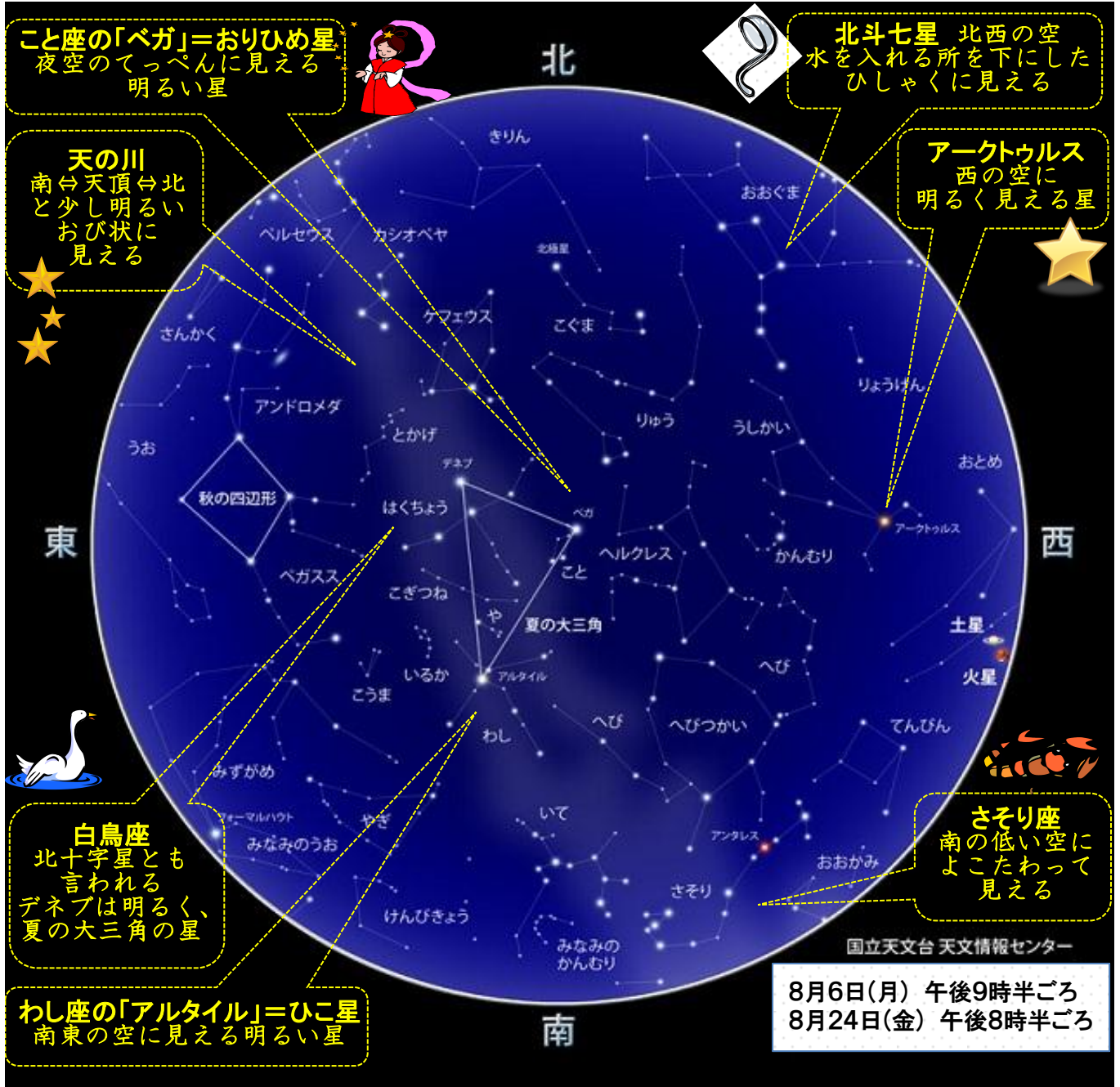


たなばた

きゅうれき

七夕は旧暦で！～8月24日(金)も七夕～

七夕は7月7日。でも、梅雨時期で、8時頃はおりひめ星もひこ星も東の低い空にあり、観察にはむきません。しかし、むかしのこよみの7月7日(新暦8月24日)なら、観察しやすくなります。



天帝の子「織女」は、布をおるのが仕事。でも、仕事ばかり。心配した天帝は、天の川のおかい岸にいる「けん牛」と引き合わせました。二人はこいに夢中になり、仕事をしなくなり、おこった天帝は、二人を天の川の両岸に引き離しました。泣き悲しむ二人を見た天帝は、一年に一度、七月七日に会うことを許しました。



8月24日(月)、おりひめ星とひこ星を見ながら、七夕をしよう!

